

ご 挨拶

四国紙パルプ研究協議会
会長 橘 燦郎

四国地域は、我が国の「紙関連産業集積地域」のひとつであり、我が国の紙パルプ産業を支えてきた重要な地域のひとつです。

四国紙パルプ研究協議会は、昭和 50（1975）年に「四国地域の紙パルプに関する学問及び技術の進歩発展を図る」ことを目的として発足した任意団体です。本協議会は、四国の産官学の紙パルプ産業関係者が当面する多様な課題を協議する場を提供するだけでなく、講演会の開催、技術ニュースの発行、ホームページによる情報発信などを行っています。四国地域の紙パルプ産業のさらなる発展のためには、広い視点に立ち、イノベーションや異業種との交流などを通し、またグローバル化も見据え、四国地域の関係者はもとより四国地域以外の関係者の協力も得ながら、紙パルプのさらなる用途開発・製品化、次世代製品の開発、次世代素材としての「セルロースナノファイバー」を始めとするバイオマスの有効活用の促進などが大切と考えられます。その意味でも、本研究協議会の存在意義はさらに高まっていくものと思われます。本協議会が四国地域の紙パルプ産業の発展に貢献できるように努力していきたくと考えています。皆様のご指導ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。